

【様式】

政務活動一覽

議員名：藤縄喜和

年月日	活動先			政務活動の内容	関連領収書 番号
	住所	活動先の名称	対応者		
令和4年 8月6日～9日	北海道	アークヒーロー 北海道	高橋幸博	観光地におけるアーク ビルの展開等の調査	A-11、12 13、14
令和4年 8月30・31日	京丹後市	山陰海岸ジオパーク 推進協議会外	中瀬セネリ マネージャー外	山陰海岸ジオパーク推進協議 会議員の会懇話会等活動	A-15 A-35
令和4年 9月4日	米子市	サイクルカーニバル 実行委員会	実行委員長	サイクルカーニバルの 運営等調査	A-16
令和4年 10月23日	倉吉市	鳥取中部ツー リズム協議会	協議会会長	サイクルカーニバルの 運営等調査	A-17
令和4年 10月26日	東京都	国会議員会館 国際省庁	国会議員 担当部局長	山陰海岸ジオパーク推進協議 会議員の会要望活動	A-18、19 20、21 22
令和4年 10月28～30日	今治市	サイクルカーニバル 実行委員会外	各担当者	国際サイクルカーニバル大会の 運営等調査	A-23、24 25、26
令和4年 11月10日	東京都	台北駐日経済 文化代表処	謝長廷代表外	鳥取県と台湾との交流推進 に係る協力依頼	A-27、28 29、30 31、32 33、34

- ・ 交通費（JR等運賃、タクシー代、駐車場代）、宿泊費、会議等への参加費及び会議の開催経費（会場代、講師謝金等）に政務活動費を充当する場合に記載すること。
- ・ 県外及び国外での政務活動については、別途「活動報告（県外・国外）」を提出すること。

【様式】

活動報告 (県外・国外)

職員名: 藤 縄 喜和

活動事項	観光地におけるアクティビティの展開等の調査
活動年月日	令和4年8月6日～9日
場所	北海道ニセコ・倶知安町
活動の相手方	(株)アーク・ヒーロー 北海道社
活動の目的	観光リゾート地の実態を調査し、県内のアクティビティの展開に参考とするため
活動の内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ 自転車ヒルクライム大会の運営等の調査 ・ アドベンチャーツアーの調査 ・ インバウンド受入体制の調査 ・ ニセコ町「子どもに優しいまちづくり」の取組調査
活動の結果等	<ul style="list-style-type: none"> ・ 国土交通省のナショナルサイクルルートの指定を目指す「ヒートリョウカロード」の取組に資するため、ヒルクライム大会の運営等を調査した。NCR要件クリアのためハード面中心に対応が必要。大会開催に付するイベント補助制度の創設が必要。イベントブースに教社が出展。大阪から参加者は自転車でのイベントにも出展可能。電動アシスト自転車(レンタル料時間4,500円)で周遊体験。今後の自転車活用推進にはEバイクは不可欠であることと実感。 ・ ニセコ町には観光協会が入居して業務にあついた。近辺に総合アドベンチャー会社があり、ラフティング、サイクリング、室内での工作体験などと手がけている。修学旅行などの教育旅行で多くの受入れがある。 ・ すでに圏域にオーストラリア人などの外国人が居住しており、インバウンドの受入環境は整備されている。(看板の英語標記、ホテルのスタッフは外国人、居住民は英語使用) ・ ニセコ町の人口は近年微増している。要因は観光産業の成功とインバウンドの流入。(子ども未来課)
関連領収書番号	A-11. A-12. A-13. A-14

【様式】

活動報告 (県外・国外)

議員名: 藤縄喜和

活動事項	山陰海岸ジオパーク推進三府県議会議員の会総会等
活動年月日	令和4年8月30日・31日
場 所	京丹後市
活動の相手方	山陰海岸ジオパーク推進協議会外
活動の目的	山陰海岸ジオパーク推進三府県議会議員の会総会開催 要望活動、現地調査
活動の内容	<ul style="list-style-type: none"> 山陰海岸ジオパーク推進三府県議会議員の会総会 議事、令和3年度事業報告、令和4年度事業計画外 各府県からの情報提供 要望活動 (協議会と三府県に対し) 現地調査 (とび丸ヶ崎、大成古墳、京丹後鉄道)
活動の結果等	<ul style="list-style-type: none"> 来賓挨拶 京丹後市副市長 中西和義氏 ジオパークは貴重な観光であり更に観光命脈と活かしたい 山陰海岸ジオパーク推進協議会会長 豊岡市長 関貫久二郎氏 山陰海岸ジオパークが再認定を受けられるよう邁進する 兵庫県但馬県民局ジオパーク参事 斐田裕史氏 令和4年度は環境省から400万円補助にプロジェクトレベルの活用事業を行っている 要望活動 藤縄会長 → 山陰海岸ジオパーク推進協議会 中津川セナリマエフォーラム 森口副会長 → 京都丹後広域振興局長 平井公彦氏 門岡 → 兵庫県但馬県民局長 登田幸治氏 藤縄会長 → 鳥取県生活環境部長 若松紀樹氏 現地調査 京都丹後鉄道のケーブル車と Mobi事業について調査した
関連領収書番号	A-15 A-35

【様式】

活動報告 (県外・国外)

議員名: 藤縄喜和

活動事項	山陰海岸ジオパーク推進三府県議会連合会の 国会議員・関係省庁への要望活動
活動年月日	令和4年10月26日
場所	東京都内
活動の相手方	三府県選出の国会議員、内閣官房、環境省、文科省外
活動の目的	山陰海岸ジオパークの認知度を高める方策、ジオ パーク活動に対する支援の要望。
活動の内容	<ul style="list-style-type: none"> 面談者(国会議員)石破茂氏(ジオパーク国会議連会長) 野上昇治氏、藤井一博氏、赤澤亮正氏、青木孝氏、谷公一氏 (関係省庁) 内閣官房 参事官 白水伸英氏 環境省 自然環境局長 興田直久氏 文部科学省 国際統括官 岡村直子氏 観光庁 観光地域振興部長 中村広樹氏
活動の結果等	<ul style="list-style-type: none"> ○国会議員の対応と回答 <ul style="list-style-type: none"> ・山陰海岸ジオパークの取組は関係省庁に伝える。 ・JGNの要望を受けているが個別案件と要望があれば対応する。 ・市町村主体の取組だが県も取り込む必要がある。 ・兵庫県の谷公一先生と協力して道路整備したい。 ・人気のある自転車はジオパークに馴染みやすいのでは。 ・天橋立と鳥取砂丘を組み合わせることも必要。 ○省庁の対応と回答 <ul style="list-style-type: none"> ・ジオパークトレイルなど申請していたら対応する。 ・ジオパークの資源(景観・食)をミックスした体験型観光を応援していく。 ・古いところには施設整備予算はおさしいが要望を続け続けて機会を見て予算を付けた。 ・ユネスコのジオパークの拠点となるHP「未来共創プラットフォーム」と用い始めたので世界ジオと日本ジオで情報交換していく。 ・8年前、湯村温泉、城崎温泉と訪問し魅力は理解している。 ・外国人の国内消費が5兆円超えよう観光立国に向け取り組む。
関連領収書番号	A-18、A-19、A-20、A-21、A-22

【様式】

活動報告 (県外・国外)

職員名: 藤縄喜和

活動事項	国際サイクリング大会の運営等の調査
活動年月日	令和4年10月28日～30日
場所	今治市
活動の相手方	サイクリングしまなみ2020実行委員会外
活動の目的	「鳥取しまなみロード」の国土交通省ナショナルサイクリングルートの指定を目指す取組に資するため
活動の内容	<ul style="list-style-type: none"> 鳥取県西部商工会が主催する鳥取県ブースの状況調査 徳島大学山中英生教授、天部拓也教授、福井県嶺南振興局プロジェクト推進室田淵洋平室長、福井県土木部平林透副部長、鳥取県サイクルツーリズム振興室等意見交換 津原戸内しまなみ海道・国際サイクリング大会・サイクリングしまなみ2022に参加し運営等調査
活動の結果等	<ul style="list-style-type: none"> ブース内ではサイクルトリビュートの缶バッジ製作体験とササエ殻積みゲーム(御栗屋漁港のササエ殻)を実施、トリビュート袋に各種観光チラシを入れ800程度手渡した。30日はクイズ後のサイクリストが多数来場し多くの方にしまなみと鳥取県を知ってもらえた。しまなみと走ってみたいなど女子意的な声が多かった。 福井県は土木部の幹部も参加しておりサイクリング熱が高いことが確認された。NCR指定に向けて行政が一層とらえ取り組んでいる。福井県とは切磋琢磨して取り組むことが必要。鳥取県・福井県両室長がNCR指定に向け決意宣言があった。 今治市内はいたるところに矢羽根とブルーラインが施されていた。ドラムバーは自転車と距離を保ちながら走行していた。Cycleタクシーの利用料金はタクシーと同等のみのためしまなみでサイクリング中にアクシデントがあれば対応可能。 「津原戸内しまなみ海道」は令和元年11月に「ナショナルサイクリングルート」として指定された。日本では唯一高速道路を規制して実施する大会園内外から約7,000人の参加者。実行委員会には六島町、愛媛県屋敷市、今治市等が構成している。経済効果は5億3,507万円(実行委員会推計)ヒコス(約30km)栗島海峡大橋、大島内往復。
関連領収書番号	A-23、A-24、A-25、A-26

【様式】

活動報告 (県外・国外)

議員名: 藤縄喜和

活動事項	鳥取県と台湾との交流推進
活動年月日	令和4年11月10日
場所	東京都内
活動の相手方	台北駐日経済文化代表処 代表
活動の目的	台湾～鳥取間のチャーター便再開と定期便就航に 向けた協力依頼
活動の内容	<p>(面談者) 台北駐日経済文化代表処 代表 謝長廷氏 副代表 李世丙氏 総務部長 洪英傑氏</p> <p>新型コロナウイルスの感染拡大で中断していたチャーター便の 再開と定期便就航に向けた協力を依頼した。</p>
活動の結果等	<p>○ 令和4年9月台湾東部で発生した地震に対するお見舞い 県議会「台湾のCPTPP参加に係る意見書」、「台湾の WHO参加に係る意見書」可決の報告 チャーター便の再開及び定期便就航に向けた協力依頼 台湾との交流推進及び定期便就航を応援する「鳥取応援団」 「鳥取・台湾ファンクラブ」設立を報告</p> <p>○ 謝代表 ・定期便は、日本側の搭乗率が3割以上必要。まずは相互チャ ター便を実施しよう。 ・台湾はサイクリングとマラソンのファンが多い。</p> <p>○ 李副代表 ・CPTPPは47都道府県中10自治体が可決。 ・日台交流サミットが観光サミットと鳥取で開催を。 ・インバウンドについて、佳路と復路は異なる空港を好まれる。</p> <p>○ 洪総務部長 ・シェアード(自転車×カー)は日本国内の新しいサイクリングコースを 探している。訪客数にチャレンジすべき。</p>
関連領収書番号	A-27, A-28, A-29, A-30, A-31, A-32, A-33, A-34